

## 学校運営協議会議事録

校名	府立西浦支援学校
校長名	吉村 晋治
准校長名	鈴木 亮彦

開催日時	令和8年2月20日(金) 10:00~11:30
開催場所	大阪府立西浦支援学校 校長室
出席者(委員)	鳩野委員、今西委員、葉山委員、八木委員、荻野委員
出席者(学校)	吉村校長、鈴木准校長、中村事務長、三宅教頭、北條教頭、川口首席、小池首席 森實首席、福井教務主任、高橋学校安全主任、菱沼部主事、小海首席
傍聴者	なし
協議資料	令和8年度学校経営計画及び学校評価
備考	

<b>議題等(次第順)</b>
<p>(連絡・報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度学校安全の取組みについて</li> <li>・令和7年度進路指導についての報告</li> <li>・令和7年度農福連携事業報告会について</li> <li>・令和7年度学校経営計画及び学校評価</li> <li>・令和7年度学校経営計画及び評価について(小中／高)</li> </ul> <p>(協議案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度学校経営計画について(小中／高)</li> </ul>
<b>協議内容・承認事項等(意見の概要)</b>
<p><b>【承認事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度学校経営計画のめざす学校像と中期的目標について、承認を受けた。</li> </ul> <p><b>【主な説明内容・委員からの意見】</b></p> <p>《令和7年度学校経営計画及び評価について》</p> <p>(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の時間外労働が目標よりも多い結果となった。今後も会議等の効率化等により時間外労働の縮減を図る。</li> <li>・大阪府教育庁実施の5つの人権研修について、受講者が他の教職員に伝達研修を開き、学校教育自己診断の関連項目の肯定的意見が増加した。</li> <li>・OT、PT相談による自立活動の充実、自立活動の実践発表や教材展示を実施したことで、学校教育自己診断の関連項目の肯定的意見が増加した。</li> <li>・ICTを活用した教育活動が増えるよう取組みを行ってきたが、思うようにICT機器の効果的な活用は進まなかった。次年度は生成AIの活用が加速する見込みのため、教職員の指導能力の養成を行う計画である。</li> </ul> <p>(准校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭に活動内容を伝えて生徒が見通しを持ちやすくしようとする意識が高まっているが、授業のねらいを明確に伝えたり授業の最後に学習内容を整理してまとめたりすることについては課題が残る。</li> <li>・高等部農場以外にもぶどう栽培場所を拡大し、学校外でもぶどう栽培等の農作業実習を29回行うことができた。今年度は初めて1班も含めたすべての農業の学習グループで、学校外の農作業実習を実施することができた。</li> <li>・昨年度や一昨年度に比べて進路未定率が低くなった。早期から実習への参加率を高めるよう進路指導部を中心に働きかけてきた成果だと考えられる。</li> </ul>

《令和8年度学校経営計画について》

(校長より)

- ・中期的目標の記載で令和7年度から変更があるのは、「児童生徒の学びが深まる授業力の向上」「個に応じた自立活動の充実、ココカラ学習の充実、SST学習の充実」「ICT機器の効果的活用と校務支援システムの効果的活用」の部分。
- ・ぶどう栽培を軸にした小中高の系統立てたキャリア教育について、教育課程に位置づけていく方針。
- ・府立学校で一斉に導入される学校連絡網システムへ移行し、デジタルによる情報発信を充実させる。
- ・教職員間でチャットツールを用いて活用事例を共有し、ICT機器の効果的活用を推進する。

(准校長より)

- ・中期的目標の項目には令和7年度から変更はない。今後も高等部では進路指導と職業教育に重点を置いて取り組んでいく。
- ・令和8年度も農業1班の学校外実習を増やすなど、農福連携の取組みを充実させる。
- ・令和7年度に進路未定率が下がった理由を検証し、今後も進路未定率10%以下を継続させる。

《委員より》

- ・多くの企業が安全に関する取組みを進めている。学校安全のノウハウを卒業後に生徒が所属する機関にもぜひ発信してほしい。
- ・西浦小学校ではハピバールからの避難を受け入れたりしているが、西浦支援学校は距離があるため連携をしにくい状況だが、何らかの連携ができればよいと思う。西浦フェスティバルでの防災ブースも素晴らしかった。
- ・西浦高校だったころも富田林支援学校と作品交流や生徒会が支援学校を訪問するなど交流していた。同世代の交流として大変意義のある活動だったので、今後もぜひ学校間交流を充実させてほしい。
- ・昔は西浦地区といえば水菜だった。今は水菜を栽培する農家を見なくなったが、西浦支援学校の水耕栽培で水菜を育てて販売しているのを見て嬉しくなった。ぶどう、いちじく、水菜を羽曳野の特産物としてぜひ栽培してほしい。
- ・支援学校は児童生徒に様々な経験を用意して発達を促すことができている。そういった活動ができていない学校もあると思うので、一般の学校にも情報を発信したり先生同士の交流をしたりするとよいと思う。
- ・学校在籍時は長期休暇があるが、卒業後はそういうわけにはいかない。卒業後に向けて夏休み中にも保護者と一緒に学校に来て水やりをしたり、放課後等デイサービスの活動として学校内での水やりや農作業をしたり、教員の負担のない範囲で機会を作ってもらえるとよいと思う。

次回の会議日程

日時	令和8年6月下旬 10時開始予定
会場	府立西浦支援学校 校長室